

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO三田校

公表日 2025年2月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		平日はA・B・Cのクラスに利用者を分散させている	人数が多い時間帯はあつたので、把握していく	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		足りるように、デスク作業等の効率化をしている	今後も効率化を進めていく	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や音響伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		手すりや、保護者がいない時は子供だけで昇降しないように気を付けている。	通り道等で危険箇所の周知をしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除や消毒を行い環境を整えている	今後も徹底していく。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		いくつか部屋があるので、必要に応じて利用している	今後も徹底していく。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○		個人的に行っていることが多いが、必要に応じて支援員間で話し合っている	今後も徹底していく。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1年に1回、評価の集計を行い、改善に努めている	プログラム内容について職員間で考え	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝の朝礼で話し合いの場を設けている	日々職員間で検証・改善を行っている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		行っていない	現在は、利用者・社内での評価評価となっている。第三者による外部評価については現在 実施の予定はないが今後必要に応じて実施を検討する	
	10 職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎週のOCC研修や、スキルアップ研修に参加している	本館とも連携を取っていく。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPPにて公表している	適切に対応していく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を具体的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		話し合いの時間を設け保護者のニーズなどを職員間で共有している	今後も徹底していく。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		朝礼や養育前に職員間で話し合いを行うようにしている	今後も徹底していく。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		当該内容は一斉指示で表示しているが、お子様の支援計画や特性に合わせてサポート職員が個別指示などの変更を行っている	今後も徹底していく。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		確認し、校舎内で日々話し合い改善に向けてアップデートしている	今後も徹底していく。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」の4つが支援内容に含まれている。こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		朝礼時に話し合いを行い適切な支援を行えるよう支援についての意見交換を行っている	今後も徹底していく。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングでお子様の情報共有を全体で行っている	子どもが好きなようなプログラムを考えていく。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日の支援内容を追加しているもので、それをもとに改善を図り、個性化しやすいように工夫している	プログラム内容について職員間で考え	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		日々確認をし取り返し、取り組んでいる	今後も徹底していく。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して実施を行っているか。	○		毎朝朝礼にて共通理解・役割分担を行っている	今後も徹底していく。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		その日に合った気になった点などは全員で振り返りが出来るようにしている	シフトの関係でその日のうちに出来ないこともあるが、なるべく毎日出来るように徹底していく	
	22 日々の支援に関して記録をとるとともに徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		電子媒体や用紙に記入し、保護者へも電子媒体配布を配布して共有している	日々職員間で検証・改善を行っている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画を6か月に1度見直しをして、保護者とのモニタリングを行い、更新計画書を作成している	モニタリング時に確認を行っているが、周知できていない事があったため改善していく	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		組み合わせを行う際に、日々工夫して対応している	内容をどんどんアップデートしているように、話し合いを行う	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を力をつけるための支援を行っているか。	○		自分でコースを選んで取り始める機会を多く提供し、考えて楽しんでいく機会を設けながら、日々工夫して支援を行っている	今後も徹底していく。	
	関係機関や保護者の連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した職員が参加しているか。	○		参画できている	事業所全体で理解度を上げていく
		27 地域の保健、医療（主治医や訪問看護師等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		体制は整え、アクションしている	現在の連携は少ないので、必要さら連携を強化していきたい
		28 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの学校時の確認等）、連絡調整（遠隔時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者と連絡をとっている	学校とは直接連絡を取っておらず、保護者を介して連絡している
		29 緊急時に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を深めているか。	○		必要に応じて連絡、情報の共有は出来るようにしている	保護者の同意を得て情報共有できるようにしていく。
		30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	○		該当なし	該当者なし
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや指導員研修を受ける機会を設けているか。		○		話をしたことは何度もある	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けたい	
32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		該当なし	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けたい	
33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		該当なし	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けたい	
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		○		毎回のセッション後に保護者と話す機会を設けており、遠隔指導でなかなか会えない保護者にはSNSで報告するなどして工夫している	今後も徹底していく	
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加による研修の開催や情報提供等を行っているか。		○		話をする際にも、お伝えできることは少ししている	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けたい	
保護者への説明	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営行っている	今後も徹底していく	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を含め、こどもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。	○		保護者や子どもたちの要望を汲み取りつつ、日々のセッションに生かせるようにしています。	今後も徹底していく	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約の際に、「重要事項説明書」を用いて話を確認してから同意を得ています。	適切に対応していく。	
	39 家庭等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要な助言や支援を行っているか。	○		運動以外の事でも相談に乗り、家族の支援になれるよう心掛けている	今後も徹底していく	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		該当なし	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けたい	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの苦情が出た際、迅速に対応し、できる限り当日に解決できるようにしています。	適切に対応していく。	
	42 定期的に連絡等を行うことや、HPP/SNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやLINEの一斉送信を活用して週活動概要を発信しています。	今後も徹底していく	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		適宜研修を行っています。	今後も徹底していく	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や音響伝達のための配慮をしているか。	○		会話の際にその日の様子をお話したり、動画を発信しています。	今後も徹底していく	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		該当なし	現在は行われていないが、必要に応じて機会を設けたい	
非営利目的の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		校舎内でマニュアルを作成し、定期的に研修を行うことで職員間でも情報共有を行っています。	適切に対応していく。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		適宜訓練を行っています。	適切に対応していく。	
	48 事前に、障害や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	○		てんかんの条件が満たされたことのある利用者に関しては体調の確認を行っています。	適切に対応していく。	
	49 食料アレルギーのあるこどもについて、医師の処方箋に基づき対応がされているか。	○		おやつや食事の提供を行っています。	該当者なし	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な情報を集める等、安全管理が十分な状態で実施されているか。	○		避難訓練等では実際に警報の音を聞いたり、警備を元日や子どもたちがイメージを持って参加できるようにしています。	適切に対応していく。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、保護者へ周知しているか。	○		個別支援計画書に避難場所の表示を行っています。	より詳細な取組内容の周知が出来るよう、図画などの機会を活用して取り組んでいく	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		報告が発生した際、ヒヤリハットを作成し、再発防止に向けて対策を考えています。	適切に対応していく。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		適宜研修を行い、情報共有を行っています。	適切に対応していく。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の必要な場面、運用等は指導員間で話し合いサポートしています。説明 / 了承を得ています。	今後も徹底していく。	